

インドにおけるテクノロジー拠点設立のお知らせ ～産業のDX生産性革命を加速～

ラクスル株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長CEO:松本恭攝)は、開発力強化の観点からインド共和国(以下、インド)のベンガルール市にテクノロジー拠点を設立し、2020年10月より稼働を開始いたしました。産業のデジタルトランスフォーメーション(以下:DX)の推進に向けて、よりスピード感を持ってサービス開発できるよう、開発体制の更なる強化に努めてまいります。

■インド開発拠点設立の背景

当社は「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」という企業ビジョンの下、デジタル化が進んでいない伝統的な産業にインターネットを持ち込み、産業構造の変革を目指す「DX生産性革命」に取り組んでおります。

IT技術者数で世界3位となるインド(※)のベンガルールに開発拠点を設立し、開発力を強化することで、サービス開発を加速させていきます。インド拠点では、物流事業を始めとした既存事業に付随するプロダクト・サービスの開発を行うと共に、新規事業のためプロダクト・サービスの開発にも取り組んでいく予定です。

■今後の海外における開発体制

当社では、2020年にベトナム、インドの2カ国に新たに開発拠点を開設しました。今後さらに海外拠点における開発力を強化し、伝統産業におけるDXの推進を加速してまいります。技術基盤を世界最高水準へと進化させ、更なるイノベーションの創出を目指します。

■インド開発拠点について

<概要>

会社名: RAKSUL INDIA PRIVATE LIMITED

所在地: インド共和国 ベンガルール

事業内容: インターネットサービス開発

設立日: 2020年7月31日

代表者: Yasukane Matsumoto



(インド拠点長: Sanjay Rajasekhar)

<拠点長からのコメント>

・略歴 :Sanjay Rajasekhar (President, Raksul India)

過去20年間、インド・米国・カナダ・中国・オーストラリア・ヨーロッパ等のエンジニアチームを組成・構築し、変革をリード。Honeywell, Dell EMC、Nortel Networksといった多国籍企業において培った世界基準のリーダーシップ経験を活かして、当社ではインド拠点の立ち上げと組織拡大を担当。

・コメント

インド開発拠点を「単なるオフショア開発拠点」ではなく「ラクスルの未来を共に創造していく開発拠点」と位置づけているラクスルにおいて、拠点設立に携われることをうれしく思います。これまでに優秀なメンバーが作り上げてきたラクスルの一員となり、このインド拠点を率いていけることを大変光栄に思っています。

長期的には、インド拠点がラクスルの研究開発ハブとなり、日本のベンチャー企業が、「グローバル化を受け入れてさらなる成長を遂げる」成功モデルとなることを目指しています。

(※)2020年3月、ヒューマンリソシア調査

■ラクスル株式会社

「仕組みを変えれば、世界はもっと良くなる」というビジョンを掲げ、インターネットによる印刷・集客支援のシェアリングプラットフォーム「ラクスル」や物流のシェアリングプラットフォーム「ハコベル」、広告のプラットフォーム「ノバセル」を運営しております。

【本件に関するお問い合わせ】

ラクスル株式会社 広報:大金・松本

TEL:03-6629-4892(広報) FAX:050-3606-0419 Mail:pr@raksul.com